Form No. 3421-896 Rev A

トランスプロ 100 牽引トレーラ

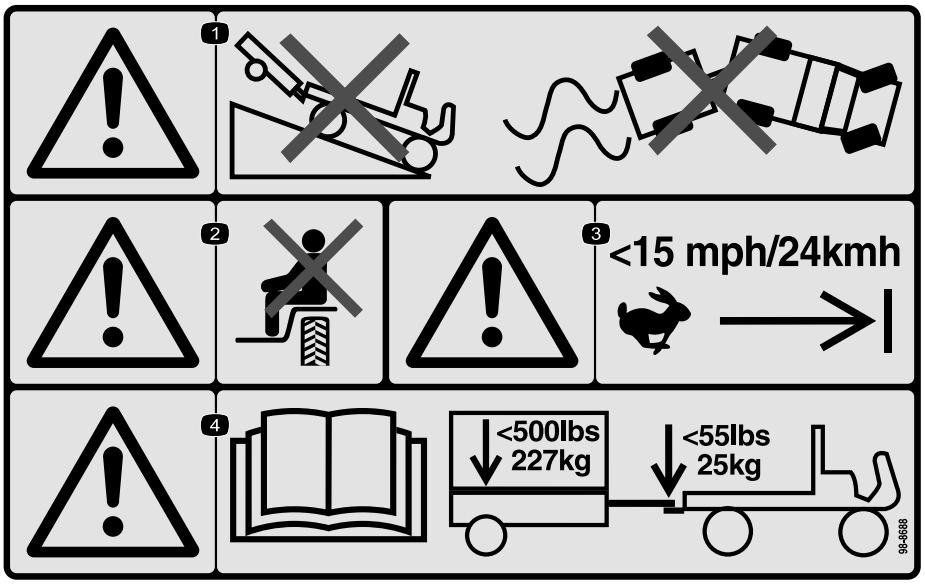
モデル番号04240—シリアル番号 401379001 以上

取り付け要領

安全について

安全ラベルと指示ラベル

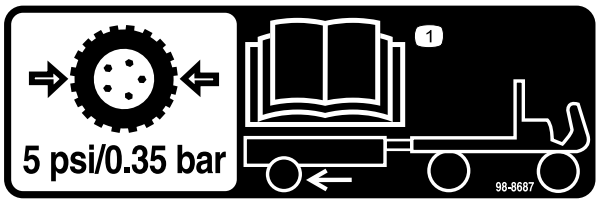
以下のラベルや指示は危険な個所の見やすい部分に貼付してあります。破損したりはがれたりした場合は新しいラベルを貼付してください。



decal98-8688

98-8688

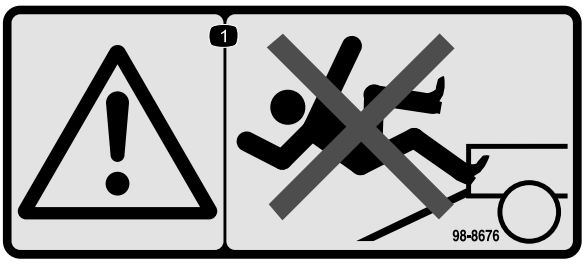
1. 警告トレーラを牽引して下り坂を走行しないこと車両とトレーラを確実に制御できる運転をすること。
2. 警告 人を乗せないこと。
3. 警告時速 24km/h を超えないこと。
4. 警告*オペレーターズマニュアル*を読むことトレーラの最大重量は 227kg トングの最大重量は 25kg。



decal98-8687

98-8687

1. トレーラのタイヤ空気圧を 0.35bar に調整してください*オペレーターズマニュアル*を参照。



decal98-8676

98-8676

1. 警告歩み板を歩かないこと。滑って転ぶ危険あり。

© 2018— The Toro® Company
8111 Lyndale Avenue South
Bloomington, MN 55420

製品の登録は www.Toro.com.

CE

この文書は翻訳です。 (JA)

Printed in the USA

禁無断転載

3421-896 A

取り付け

トレーラを組み立てる

1. トレーラベッドの下側にある取り付けブラケットに、トングアセンブリを取り付けるボルト3/8 x 2-3/4"2 本、ロックナット 2 個を使用する図 1。

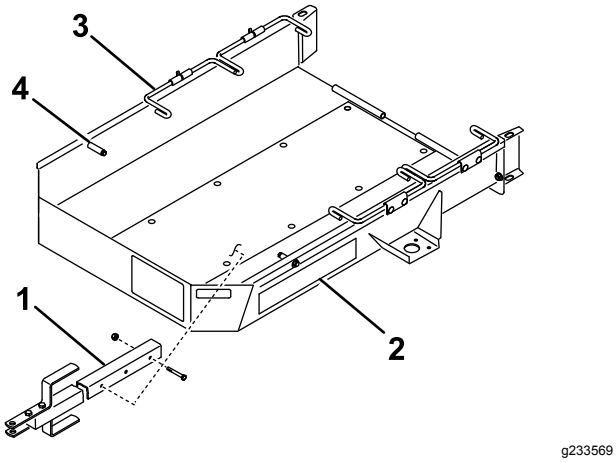


図 1

1. トングアセンブリ
2. トレーラベッド
3. ホイールロッド
4. ストップ

2. トレーラベッドの両側で、取り付けブラケットの下側にアクスルを取り付けるキャリッジボルト 4 本とロックナット 4 個で図 2のように取り付ける。

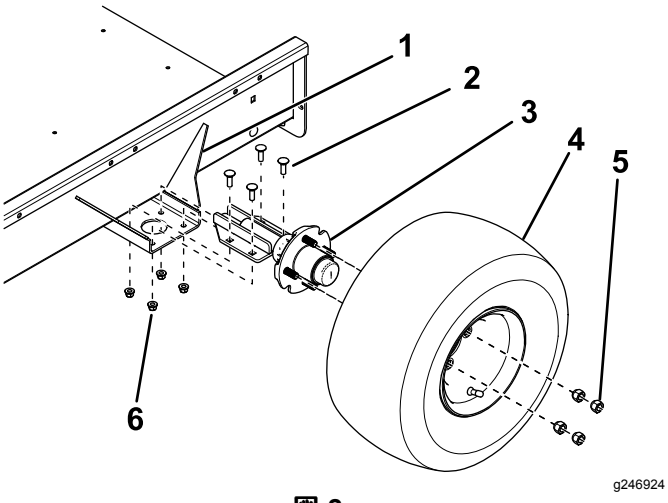


図 2

1. 取り付けブラケット
2. キャリッジボルト
3. アクスル 車軸
4. ホイールアセンブリ
5. ラグナット
6. ロックナット

3. 各アクスルハブにホイールアセンブリを取り付け、ラグナット 4 個 を 108.5 N·m11 kg.m=80 ft-lbにトルク締めする図 2。
4. タイヤ空気圧を 34 kPa0.35 kg/cm2 = 5 psiに下げる。
5. トレーラベッドの後部にトレーラランプを取り付けるヒンジ付きロッドとコッターピン 2本を使用する図 3。

   注 組み付け前に、ヒンジロッドにグリスを薄く塗ってください。

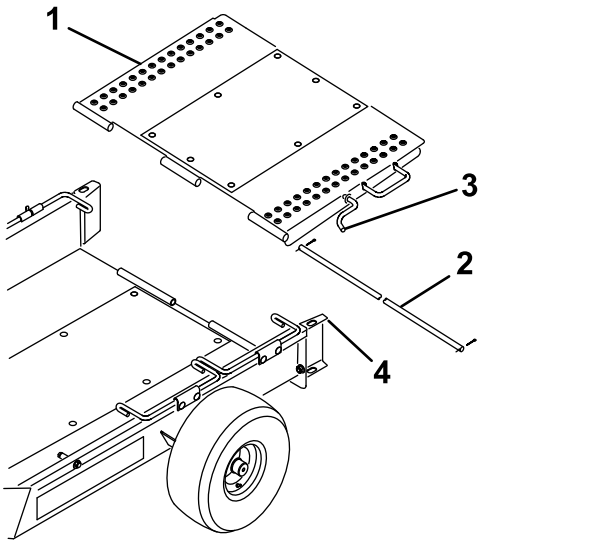


図 3

1. トレーラランプ
2. ヒンジロッド
3. ランプのラッチ
4. ホイールガイド

6. トレーラランプを跳ね上げてホイールガイド上部にある穴にランプをラッチ止めする図 3。

トーインの調整

タイヤの異常摩耗を防止するため、ホイールのトーインを 0-3 mm に調整してください。

調整の手順は以下の通りです

1. 各タイヤに中心線を引き、
2. タイヤの前と後ろで、左右のタイヤの中央線間距離をホイールハブの高さで計測します図 4。

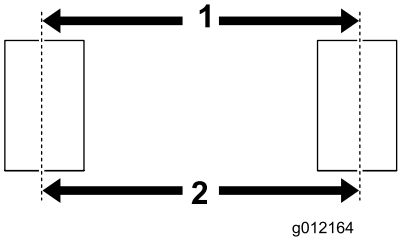


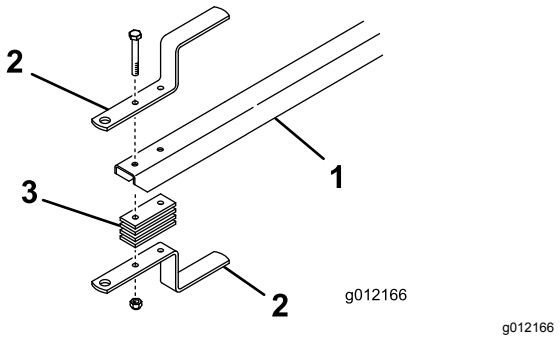
図 4

1. 前側の中心線から中心線までの距離
2. 後側の中心線から中心線までの距離

3. ホイールの前側で測定した距離が、後側での測定よりも 3 mm 小さくなるようにアクスル取り付けブラケットの位置を調整してください図 2。

トレーラトングの位置を調整する

牽引車両に取り付けたときに地表面と平行になるようにトレーラトングの高さを調整してください。調整はスペーサで行います図 5。



g012166

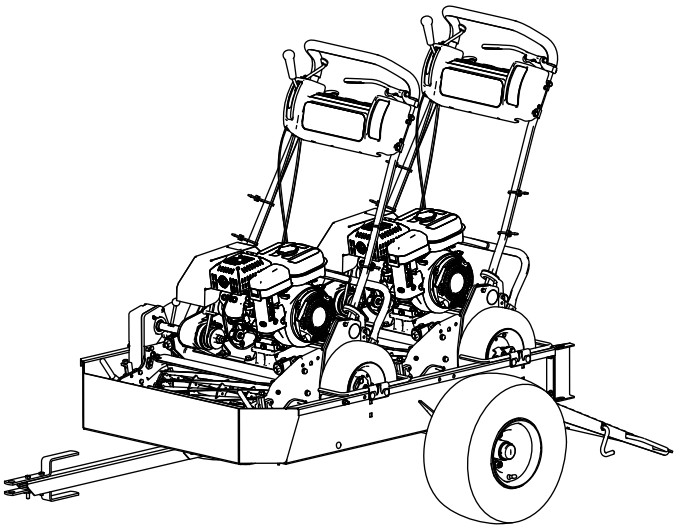
図 5

1. トレーラトング
2. トレーラヒッチ
3. ピッチスペーサ

トレーラへの積み込み

1. ホイールガイドからランプのラッチを外して、ランプを地面に降ろす。
2. 第一組目のホイールロッドを上向きにする。
3. 芝刈り機から集草バスケットを外し、リールの回転を OFF にする。
4. スロットルを低速にセットし、**ゆっくりと**した速度で、モアをトレーラに上げ、ホイールがトレーラのストップに当たるまで前進させる図 1。
5. エンジンを止め、駐車ブレーキを掛ける。
6. 第二組目のホイールロッドを下向きにする図 1。
7. 2台のモアを運ぶ場合には、以上の手順を繰り返す。

   注 第一組目のホイールロッドが台目のモア用のストップになる図 6。



g216504

図 6

8. トレーラランプを跳ね上げてホイールガイド上部にある穴にランプをラッチ止めする図 3。
9. バスケットは牽引用車両の荷台に置く。

運転操作

搬送可能なモア

このトレーラはいろいろなグリーンモアを搬送することができます。詳細は以下の表でご確認ください

重要 **このトレーラは、歩行型グリーンズマスター専用です。他の製品に使用するとトレーラを破損する可能性があります。**

- 改造なしで搬送できる機種
  - グリーンズマスター 1000
  - グリーンズマスター 1010
  - グリーンズマスター 2000
  - グリーンズマスター Flex 21
  - グリーンズマスター Flex 2100
  - グリーンズマスター Flex 2120
  - グリーンズマスター eFlex 2100
  - グリーンズマスター eFlex 2120
- 18" コンバージョンキットを取り付ければ搬送できる機種
  - グリーンズマスター 800
  - グリーンズマスター Flex 18
  - グリーンズマスター Flex 1800
  - グリーンズマスター Flex 1820
  - グリーンズマスター eFlex 1800
  - グリーンズマスター eFlex 1820
- 移動走行アクスルを外せば搬送できる機種
  - グリーンズマスター 1600
  - グリーンズマスター 1610
  - グリーンズマスター 2600

重要 **適切な牽引能力のある車両で牽引してください。トレーラにグリーンズマスター 2 台を載せたときの合計重量はおよそ 363 kg になります。**

牽引に使用する車両がこの重量に相応しいブレーキ能力を備えていることを必ず確認してください車両メーカーの仕様書を確認してください。

作業のコツ

- モアを積み込むときや降ろすときには、トレーラが牽引用車両に確実に接続されていることを確認してくださいヒッチが外れているとトングが突然跳ね上がるなどして大変危険です。
- トレーラを牽引するということは、牽引車両にそれだけの負担がかかるということです。速度を落として運転しましょう。
  - 高速道路や公道を走らないでください。
  - カーブの手前では必ず**減速**し、ゆっくりとした速度で旋回してください。
  - 地表面がラフな部分や表面の状態がよくわからない場所に入り込む場合には必ず十分に**減速**してください。
  - 進行方向を変えるときや、停止する場合にも、必ずその前に十分に**減速**するようにしてください。
  - 旋回時や法面では必ず**減速**してください。
  - 急旋回や急停止を**しないでください。**坂道、ランプ、傾斜面、法面などでは進行方向を急に**変えないでください**。
  - つねに、地表路面状態を確認しながら、状態に合わせて走行速度を調整してくださいぬれていて滑りやすい場所、砂地や砂利で走りにくい場所、視界の悪い場所、夕暮れ時や夜明け前、霧、もや、雨などの条件に合わせてください。
  - 特に、重いものを搭載・牽引して下り坂を走るときには安全に十二分に注意してください。傾斜している地形は、可能な場合は必ず、真っ直ぐに登って真っ直ぐに降りるルートを選んでください。法面の横断左右に傾いての走行は仮に可能であっても**しないでください**。車両が横転する可能性が常に存在し、万一横転した場合には重大な事故となります。
- バックするときには、後方の安全に注意し、車両の後部に人や物がないことを確認してください。バックするときには低速で、トレーラの動きをきちんと観察しながら下がってください。
- トレーラを接続した状態の後退走行には細心の注意が必要です。
- 道路付近で作業するときや道路を横断するときは周囲の交通に注意してください。歩行者や他の車両に対し、常に道を譲る心掛けをもちましょう。.
- トレーラが異常な振動を始めたときは直ちに牽引車両を停車させてください。そして牽引車両のエンジンを停止してください。破損部は必ず修理交換してから使用を再開するようにしてください
- トレーラの整備や調整を行う前には、以下を守ってください
  - 牽引車両を停止し、駐車ブレーキを掛け、

– 牽引車両のエンジンを止め、キーを抜き取る。

- 全部のボルトを確実に締め付けておく。整備中や調整中に外したパーツは必ず元通りに取り付けてください。

メモ

メモ



Count on it.